

文芸 さくらがわ

俳句

【桜川市岩瀬「萩」俳句会】

知らぬ間に凍蝶発たす春の風 小林 啓治
 春立つや別るる人と逢ふ人と 萩原 勅彦
 盆梅に日の射し何かに耐える日々 三代 みちよ
 桶形の氷そのまま春を待つ 入山 ひろ子
 喪歸りのはんばごころに春の雪 若色 寿美女
 猫柳少しにこりし小川かな 金田 とう女
 家系継ぐ息子のありて歎始 渡辺 いし
 初空やいつか広げし趣味の幅 細谷 充女
 佗び助の咲きし出湯に夢結ぶ 永瀬 ちい
 近づけば吐息の聞こゆ古代雛 萩原 きのし
 術あとに触るる指先き今去今年 小林 フク※

【茂山俳句会】

鳴龍の響きたしかに寒の堂 海老沢 静夫
 悪童の頃がなつかし野火を追う 植田 祥雲
 初詣花束のごと吾子を抱き 笠倉 陽子
 寒晴や置き去られるて婆たのし 大関 くに
 くすぶつてみて走り出す野焼かな 松崎 いま

短歌

【やまと早蕨歌会】

木枯らしがやって来る頃あかぎれて痛かつたこと嫁と語りぬ 榎戸 栄子
 人生の三つの谷を渡り切り 今平坦な道あゆむ幸 木藤 とみ
 「ただいま」と父の声きく夕餼どき鍋の料理に柚子の香ほのと 佐藤 悦子

初鏡傘寿の命賜りぬ

今井 繁子

火となりて草走り出す野焼かな 鈴木 ノブ子
 野焼きして風が棲みつく河川敷 田崎 信子
 風の道逃げる落葉に追ふ落葉 宮本 芳江
 ほると落つ凍蝶もろ羽たみを取り 吉原 秀子
 ズワイガニ私が寡黙になれるとき 吉原 京子
 鈴を舞ふ振りを大きく初芝居 君島 真理子
 春立つや闘志抱きて古稀の年 金子 弘毅
 算一縷氷柱となりて太りけり 竹林 てる
 野焼あと一村棚引く煙かな 海老沢 幸子
 みつめあふことなき男雛女雛かな 飯山 昭

俚謡

【さくら俚謡会】

巡る蔵街雛段眺め思ふ若き日亡母の顔 岩瀬 きみ子
 春のそよ風触れば開く身体くねらす露の臺 一木 みどり
 ポニーテールの乙女のような色香漂う蓬餅 つく志 輝美
 野暮な男ねと掴ってやって傘ではじいた牡丹雪 稲葉 建正
 怯む震災元気を呉れる雛が微笑む蔵の街 田 哲人

長かりし冬も過ぎさり待ちいるは燦燦と照る春のおとずれ 田中 きみ
 深海の沖より寄せる高波は岸に当たりて白く砕けり 中原 すみ子
 土穿つ雨だれの音たえまなく編む手やすめてしばし聴き入る 中島 龍子
 条幅の白を自由にととのへて抑揚の運筆君の遺作は 北条 正子
 目路はるか天までとどけ老の身の千の思いと家族の笑顔 皆川 米子

■お詫びと訂正

前月号の中に誤りがありました。お詫びして訂正します。

【岩瀬萩歌会】

誤 呼ぶ声はついに届かず君は逝く今宵三十七日うるむ月光 安達 悦子
 正 呼ぶ声はついに届かず君は逝く今宵三七日うるむ月光 安達 悦子

※小林フクさんは逝去されました。

広報 さくらがわ 有料広告募集!

■サイズ 1 枠 29mm×85mm、2 枠 29mm×172mm
 ■掲載料 1 枠 10,000 円、2 枠 20,000 円
 (月額) ※連続掲載で割引制度があります。
 ■問合先 秘書広報課 ☎58-5111-75-3111、内線1268

広報 さくらがわ 有料広告募集!

■サイズ 1 枠 29mm×85mm、2 枠 29mm×172mm
 ■掲載料 1 枠 10,000 円、2 枠 20,000 円
 (月額) ※連続掲載で割引制度があります。
 ■問合先 秘書広報課 ☎58-5111-75-3111、内線1268